

放射線科だより



令和6年1月26日
診療放射線科 渡辺 隆司

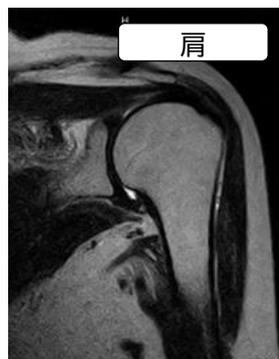
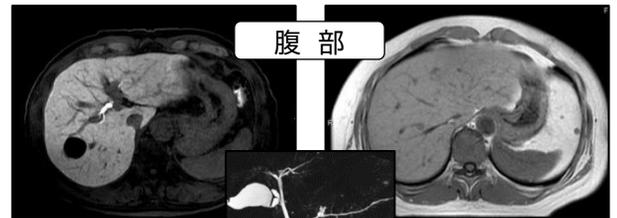
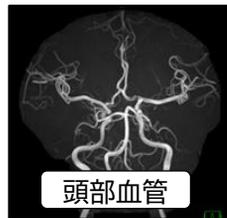
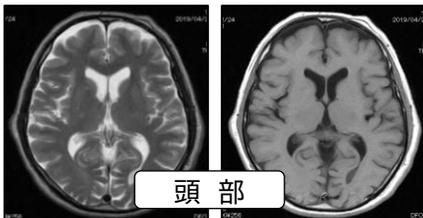
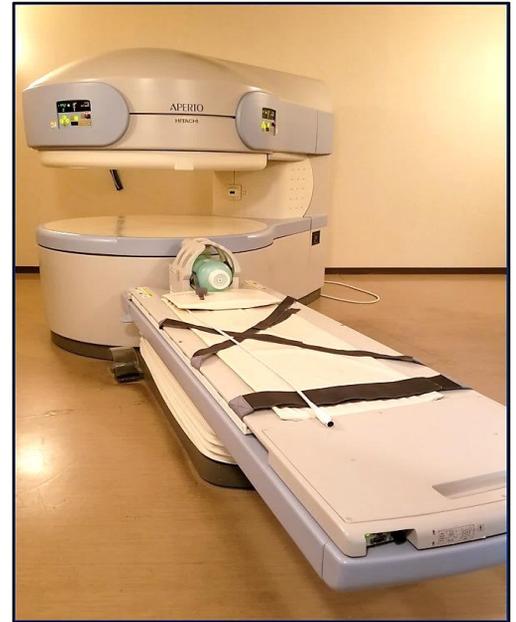
《MRI検査》

・ MRI検査とは？

MRI検査とは、強力な磁力と電波を用い人体を構成している水素原子から信号を取り出し、それを画像化して得られる核磁気共鳴画像（Magnetic Resonance Imaging）を収集することで、体内の様子を調べる検査です。X線を使わず、磁力を用いて画像を作成するためX線被ばくのない検査となっています。

MRI装置の欠点として、装置の圧迫感が強く、工事現場のような大きな音・振動があげられますが、当院のMRI装置はトンネル型ではなくオープン型であるため、通常のMRI装置より、圧迫感が少なく、音も振動も少なくなっています。

強力な磁力と電波を使用するため、体内に電子機器（心臓ペースメーカー、人工内耳）を埋め込んでいる方、材質の分からない体内金属のある方は検査ができません。また、アクセサリーなどの装飾類も外していただきます。



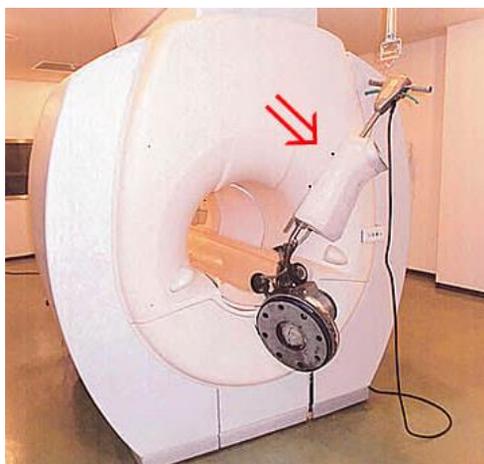
また、MRIの磁力は24時間常に発生しています。

- 検査をしていなくても
- 装置がOFFになっていても
- 病院が停電していても

常に磁力は発生しています

掃除やメンテナンスでの立ち入りや緊急時（火災・地震等）であっても、MRI検査室に入室の際は細心の注意が必要です。

掃除道具の吸引



写真：医薬品医療機器総合機構PMDA 医療安全情報

MRI装置は国内で数千台が稼働し、現在の医療では欠かせない検査の一つとなっています。その一方で普及に伴い、関連する事故も増加しています。

MRI検査は磁力と電波を用いて行うので特有のリスクがいくつかありますが、その中でも事故報告例が最も多い「MRI装置による磁性体の吸引事故に関して」ご説明させていただきました。

インパクトのある写真ばかりを集めたので怖い印象を持たれたかもしれませんが、安全に検査ができるよう担当技師が確認を行っていますのでご安心ください。入室の前には長々と説明がありますが、すべてはこのような事故を起こさないための大切な準備です。皆様のご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。